

立春はすぐそこに・・・

1月9日から始まった3学期ですが、早くも1か月が過ぎようとしています。2月4日立春、前日の節分の日もそこまで来ています。

今年は例年になく厳しい寒さが続いていて全国的にも寒波による大雪で大変な地域もあるようです。寒いとはいえやはり暖かい宮崎、もうすぐプロ野球やJリーグのキャンプも始まり、恵まれた環境に感謝です。

右上の写真は、校長室前の犬走りです。昨年同様教務主任の岡村先生が、3月の卒業式に向けて、ペチュニアやパンジー等の花苗を育てています。大きな黒ポットに約600個。小さかった苗は、寒さの中、細かな手入れと、太陽の光をしっかりと浴びて確実に大きく成長しています。花々で飾られた卒業生を送る華やかな会場が今から楽しみで仕方ありません。何でもそうですが、手をかけただけ、良い結果が出ますよね。



プールがきれいになります

内部の塗装のはがれ、側面のひび割れ、コンクリートの破損など、老朽化が進んでいたプールの改修工事が行われています。内部の塗装をはがし、ひび割れ等を補修、そして内部の塗装作業が行われるようです。来年度、今年の6月からの水遊び・水泳の学習は、リニューアルされたきれいなプールで行われます。気持ちいいことでしょう。泳力がぐっと伸びることが期待できます。楽しみです。



携帯・スマホ等情報端末 大丈夫ですか？



青少年のスマホ、携帯等の所有率は年々上昇しており、データによって、若干の違いはありますが、小学生の半数以上が所有しているとも言われています。ゲームや動画視聴が主な用途のようです。がライン等のいわゆる「SNS」もその一つと言われています。スマホ等の情報端末は非常に便利なツールではありますが、使い方を間違えると逆に危ない道具に

なると言われています。以下はある雑誌からのラインによるいじめを紹介する文章の一部です。

ラインによる「いじめ」が起こる背景には3つの大きな原因があると指摘されています。

- 1 「既読」「未読」機能。読んだら「既読」の表示が出るが返信しないと「なぜ返信しないんだ。あいつは友だちから外す」というケース。「未読」のままでも「イライラする。スマホをいつも持っているはずなのにおかしい。グループから外そう。」となる。
- 2 文字の怖さ。短文のために真意が相手に伝わっていないケース。例えばグループで「映画に行こうよ」という誘いに、相手が「何でくるの？」と返信すると、乗り物は何で来るのかという問いなのに、何であんたが来るのかと意味を勘違いし仲間外れになる。
- 3 閉鎖的な世界によるいじめ。閉ざされた空間のため正論がすべて通るとは限らない。正論を言った相手をみんなで潰してしまう。

上記のようなトラブル以外にも、夜遅くまでゲームやSNSでのやりとりをしている等の弊害も多く耳にします。個人的には、携帯端末が小学生に必要なのかな？と思いますが、与える、与えないは最終的には親の判断です。与えるのであれば与えっぱなしにならないよう、しっかり管理するのが親としての当然の義務だと思います。ある調査によると、有害情報を遮断するフィルタリングの使用率は小学生ではたったの51%とのことです。本当に必要なものなのか、何に使うのか、もう一度考える必要があるのではないのでしょうか。



2月 主な行事予定

- 1日(木) 小中合同あいさつ運動、全校朝会
- 7日(水) 上・下学年集会、元気タイム
- 9日(金) 新入生保護者説明会
- 12日(月) 11日(建国記念日)の振替休日
- 13日(火) 租税教室(6年)
- 14日(水) 特別校時(職員研修のため全学年4時間授業)
- 16日(金) 3年クラブ見学 元気タイム
- 21日(水) 元気タイム
- 23日(金) 参観日、全学年5時間授業
- 26日(月) 卒業式練習(朝)、委員会活動
- 27日(火) 森永保育園との交流会(1年)
- 28日(水) 卒業式練習(6年) 登校班長会

私の将来の夢は

2人の6年生の作文を紹介します。将来の夢に向かって自分が今、そしてこれからやるべきこと述べられています。菊田芽さんは1月12日に行われた、「国富町 新春子どもの声を聞く会」で森永小代表として堂々と発表しました。

なりたい自分になるために

六年 菊田 芽

あれは一年生の時、私はある人にきぎ付けになりました。毎日、笑顔で私のお世話をしてくれた人。折り紙を折ったり、優しく声をかけたりしてくれました。ある人・それは看護師さんでした。その時から、私の将来の夢は「看護師になること」になりました。

まず、その資格です。看護師国家資格があることがわかりました。その資格は、高校を卒業した後、専門学校で看護系大学に四年行き、国家試験を受ける必要があることがわかりました。ではまず、今から自分に何ができるかを考えてみました。考えたことは四つあります。

一つ目は、やはり勉強をするということです。高い学力をつけておかないと、専門学校へは行けません。行きたい高校へも行けなくなるかもしれない。専門大学へは安心してもらうためには、わかりやすく説明できるか・それはやはり勉強が必要だと思います。小学校・中学校・高校で学ぶことはありますが、いまだに勉強が難しくなっている中で、どのような勉強をするのかを考え自分のために勉強することが大切だと考えました。

二つ目は体力と精神力を高めることです。長時間立って歩き回るのは体力が必要で、体力がないとミスをしてしまうかもしれません。たおれてしまっても、体力がなくなるとミスをしてしまうことはできません。無理をせず適度な運動をしようと思います。そして精神力です。プレッシャーなどがかかることが多くあります。ミスをしてしまうこともあります。そんな時、精神力が弱く、判断力がなくなったり、ストレスがたまったりします。精神力も体力と同じように高めることが大切です。

三つ目はコミュニケーション能力を高めることです。病院には幼い子どもからお年寄りまでいろいろな人がいます。その人たちとどのように関わっていくことが大切か、かん者さんをフォローしたり安心させたりするためにどのような言葉かければよいのか、どのように接すればよいのかということも大切だと考えます。コミュニケーション能力を高めるために、たくさんの人と関わっていきこうと思います。

四つ目は、何より大切な笑顔です。私はこればとても苦手です。看護師さんはいつでも、どんな時でも必ず笑顔で接してくれる人です。それは、かん者さんを不安にさせないためです。お世話する側の人が笑顔でいれば、かん者さん側も笑顔になります。不自然な作り笑いよりも、自然な笑顔だととても安心できます。ふだんから笑顔を意識していれば、自然と笑顔になります。苦手だからこそ、意識することが大事だと思います。

私はこれらのことを考えてから少しずつ変わりはじめました。運動会や二番穂が、修学旅行での代表あいさつも立候補したり、先生のテストを受けてみたり・・・そしてこの意見発表会にも立候補しました。何でも挑戦すること、経験が増え夢への第一歩となるはずだと考えます。私の将来の夢は看護師。なりたい仕事につくために努力します。これからいろいろなことに挑戦し、良い経験を積み重ねていきこうと思います。



夢へのチャレンジ

六年 武田 茉莉

もつとたくさん遊んでいれば。私が二、三年生のとき、おばさんの犬が車にひかれて死にました。事故現場には、生々しい血のこぼれが残っていました。頭から血が出ていましたが、流れる血が止まらずに、周りにいた人たちの体が冷たくなっていくのがわかりました。おばさんは大泣き。周りにいた人たちがみな静かに手を合わせていました。私はその事実が飲み込めず、ずっと犬の頭をなでて話しかけていました。心の奥で、もつともつと一緒に遊んでいた犬の姿が、心残りなく見送りができたのと同じように、少しの時に、いつでも多く動物を救い、少しでも人と動物が仲良くなるように、世の中にしたいという決心をしました。

動物看護師は獣医師の仕事とほぼ同じ仕事をしていると思います。私は、動物看護師になるためにはどうしたらいいかを考え、資料を探してみました。まずは資格が必要です。認定動物看護師という資格が必要だということがわかりました。これは、専門学校で学ぶことが必要となります。では、それまでの間に自分に何ができるかを考えてみました。

一つ目は勉強です。どの資格をとるにしても勉強しておくことは大切です。どうすればこの問題が解けるのか、なぜこうなるのかなどいろいろと考えることが勉強のいいところだと思っています。小学校での勉強は、中学校でも生かされるので、自分が納得するまで復習や練習をしっかりとやり、小学校での勉強を完璧にします。

二つ目は他の動物とのふれあいを増やすことです。これは一番難しいと思います。人の家のペットを勝手にさわったりすることはできないし、野生の動物はもつとできないからです。でも、動物に好まれるようにならないといけないので、今のうちにより多くの動物とふれあっておきたいです。

三つ目は動物も人間と同じ生き物ということを見つめることです。動物も人間と同じ生き物ということを見つめることで、飼っている動物を捨てる人、殺したりする人がいるのと同じように、動物にも命があり人間と同じように生きているのです。分かってもらえないように、自分なりにアピールしてみようと思います。

四つ目は自分の考えをしっかりと伝えることです。動物看護師という仕事は、ちりょうをしっかりと伝えることが大事です。動物看護師という仕事は、人の話を流すだけではなく、自分の意見をしっかりと伝えることが大事です。私は、すぐに自分の意見を言うことが得意で、自分の意見がばつと答えられるようにしたいです。もちろん、人の意見も参考になると思うので、話をしっかりと聞き、メモをとることも大事だと思っています。そうすることで、自分の意見をもう一度しっかりと見つめ直すことができると思います。

私はこれらのことを考えていまして、自分の中で変化が少しずつ現れてきました。自ら作文発表や代表あいさつに立候補したり、大きなイベントではリーダーに立候補したり・・・このように、いろいろなことに挑戦していけば、将来も挑戦をおそれない人になれると思います。夢・・・私にとって、今、なくてはならない大人になるための一部分だと思っています。夢に向って、いろいろなことにチャレンジし、自分なりにがんばっていきこうと思います。

